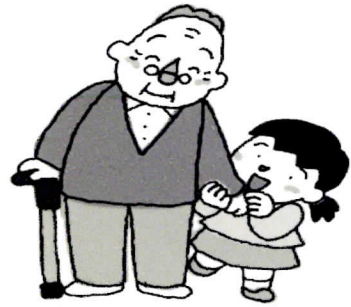


新発田市議会報告 一般質問の要旨(9月10日)



質問（渡辺） 全国的な高齢者の所在不明事件を受けて、当市の高齢者所在確認業務の実態について

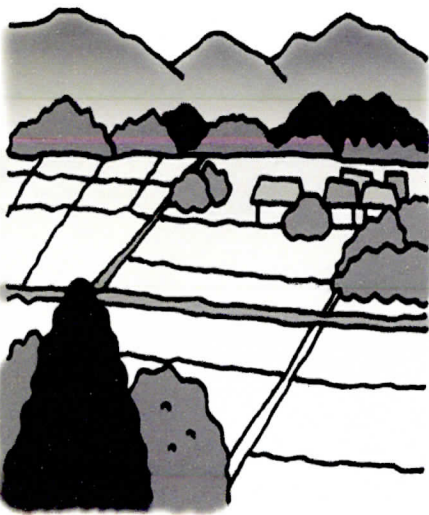
答弁（市長） 高齢者の所在確認方法は、介護保険の利用及び、後期高齢者医療給付実績のほか、介護施設入所実態や健康診査受診状況、百歳のお祝い訪問等により確認している。

質問（渡辺） 介護施設待機者が年々増加している。その対応と対策は

答弁（市長） 今年4月時点での特別養護老人ホームの待機者は607名おります。市の第4期介護保険事業計画では、100床の特別養護老人ホームを1施設と認知症高齢者グループホーム2施設を平成23年度までに整備し待機者の解消に努めています。

質問（渡辺） 介護職の離職率が全国的に高いといわれているが、当市の現状とその要因は

答弁（市長） 全国の介護職員全体の離職率は平成21年度で17%、新潟県は15.8%と全国平均値より低い状況である。当市の離職率の調査はしておりませんが、介護事業者からの情報によれば離職は少なくなってきたが、「より条件の良い介護施設へのステップアップのための転職」も多いということである。



質問（渡辺） 認知症や虐待等に対する総合的な相談、支援体制と虐待の実態について

答弁（市長） 市内に5か所ある地域包括支援センターにおいて、介護事業所、医療機関、民生委員、地域住民等のネットワークを活用して認知症、高齢者虐待の相談を受けている。虐待の件数は平成21年度が45件と毎年増加している。身体的虐待、心理的虐待、介護放棄などがあり、問題を抱えているケースを出来るだけ早期に発見、把握し適切な支援を行っていくことが必要と考えている。

質問（渡辺） コメ戸別所得補償など、農業の政策転換と当市の今後の農業振興策について。

答弁（市長） 農業所得の向上を図るため、アスパラガスやイチゴ、ネギなどの園芸作物による複合営農の推進を図るとともに、より効率的で企業的な農業法人や集落営農組織の育成も当市の農業の発展につながる。また、地域の特性を生かした作物の振興や環境型農業を推進し、担い手の育成が図られる制度国県への要望を行っていく。